

2022年12月22日

電カスマートメーター通信ネットワークを活用した
水道・ガスの自動検針サービスについて

～名取市の水道使用量の自動検針開始～

当社は、電カスマートメーター通信ネットワークを活用した水道やガスの自動検針の実証試験を2020年8月から当社管内の各所で実施してまいりましたが、2023年3月から水道・ガスの自動検針サービスを開始することといたしました。

本サービスは、水道やガスのメーターに無線端末を接続し、当社の電カスマートメーター通信ネットワークを介して水道・ガス事業者に検針値などの情報を提供するものであり、本サービスにより、メーター検針業務の効率化や検針員不足の解消、漏水やガス漏れの早期発見などのメリットがあります。

本サービスの最初の導入事例として、当社は、2021年12月から実証試験を実施していた宮城県名取市（市長：山田司郎氏）と「電カスマートメーター通信ネットワークを活用した名取市スマート水道メーター共同検針」に係る契約を締結し、水道使用量の自動検針サービスを開始いたします。

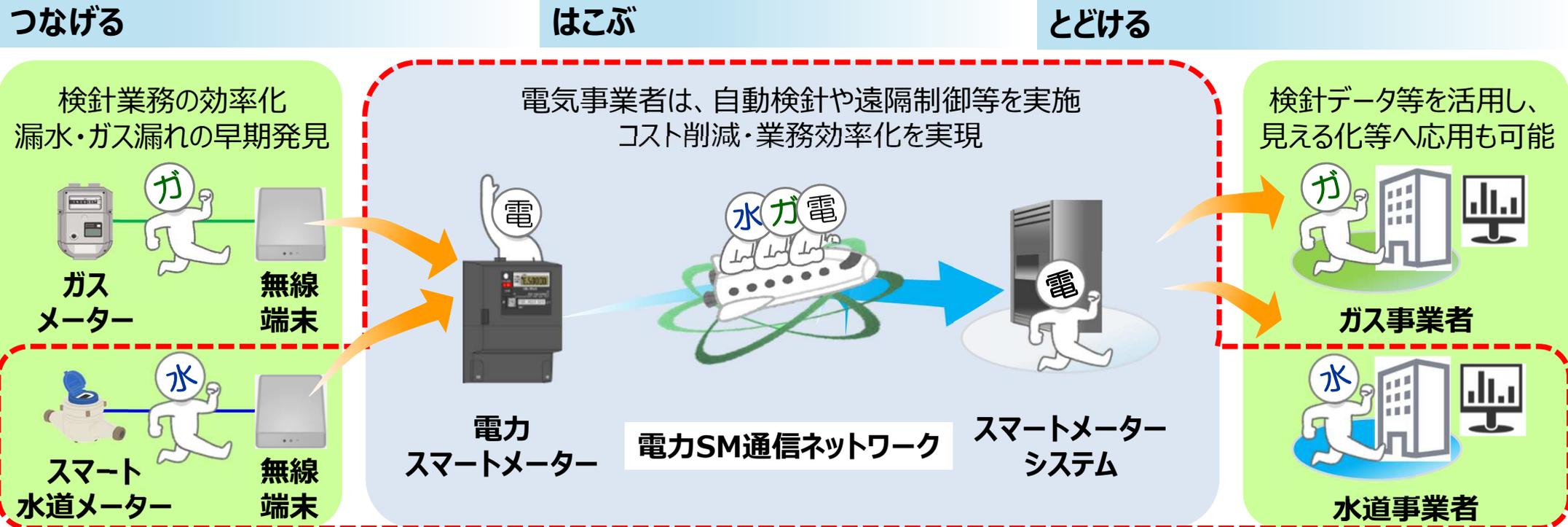
当社といたしましては、今後、高齢化社会の労働人口減少などといった社会的課題が想定される東北6県および新潟県において、ガスの自動検針サービスの提供に向けた準備を進めるとともに、実証試験を踏まえた自動検針サービスの事業拡大等、引き続き、お客さまが安心して暮らせる環境づくりや地域の発展に寄与するIoTを活用したスマート社会の実現に取り組んでまいります。

以上

（別紙）水道・ガス自動検針サービスの概要

(別紙) 水道・ガス自動検針サービスの概要

- 水道・ガスの検針データ等を、電力スマートメーター通信ネットワーク（以下、電力SM通信ネットワーク）を通じて収集し、事業者様にお届けします。
- 本サービスにより、検針業務の効率化や検針員不足の解消、保安業務の高度化等、様々な社会課題の解決に貢献できると考えます。



名取市様とのスマート水道メーター自動検針の範囲

水道・ガス事業者様
(メーター、無線端末)

東北電力ネットワーク
(電力SM通信ネットワーク)

水道・ガス事業者様
(料金計算システム)

■ 電力SM通信ネットワークを活用した共同検針により、
『安定、安心、安価』な遠隔自動検針の実現を目指します。

安定 通信品質の安定

- 電力スマートメーターは水道・ガスメーターの近傍に設置される可能性が高く、最適な電波経路を自動選択するため、安定した通信環境が期待できます。
- 電力SM通信ネットワークを使用し、大手キャリアの停波に伴う対応※が発生しません。
※ 4G停波に伴う5Gへ切替えなど
- 管内に62の事業所があり、最寄事業所による迅速な現場対応が可能です。

安心 高セキュリティ

- スマートメーター専用の通信回線を使用し、暗号化も定期的に見直ししています。
- 24時間365日の体制によりウイルス検知、不正アクセス、システム障害を監視しています。

安価 インフラ資産の活用

- 2023年度末までに管内の全てがスマートメーターとなります。管内全てに形成されるネットワークを活用し、安価な料金の実現を目指します。
- 共通仕様採用により、将来的な調達コストの低減が期待できます。

